

本時のねらい

- ・ PROGRAM1 で学習した文法事項の復習として、iPad を活用した会話練習をすることで、読む力、話す力を育成する。
- ・ iPad を活用してリーディング練習を反復して行い、その後リスニング練習をすることで、聞く力を育成する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ デジタル教科書を活用し、音声の読み上げスピード、英文・日本語訳の表示／非表示、ハイライト機能の設定を調整することで、各自の習熟度に応じた効果的なリーディング練習を行うことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 授業支援ソフト (SKYMENU Cloud) ・ 学習者用デジタル教科書 (開隆堂「SUNSHINE ENGLISH COURSE 3」) ・ 大型モニタ

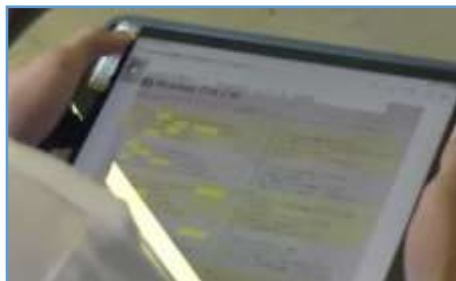
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○常学習 ○単元単語テスト (20 問) ○英語の歌 (Good Time) ○* 英語の歌詞/ミュージックビデオに合わせて一緒に歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大型モニタに楽曲の動画を映すことで、曲の内容を視覚的に伝えるとともに、歌いやすい楽しい雰囲気を生み出す。 ○英語の歌詞は、SKYMENU Cloud の配信機能でデータを配付する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあて 「リーディング練習を積み重ねて、リスニング力を強化しよう」 ○音読マラソン PROGRAM1 の Scenes 全文の音読を、デジタル教科書を使い生徒自身が練習方法 (シャドウイング/リピート/同時読み) を選択し、個人で練習をする。 【写真 1】 ○Scenes を極めよう PROGRAM1 の Scenes の穴抜き会話文を使い、ペアワークでリーディング練習をする。配付する教材は穴抜き量によりレベル 1～3 までである。個人やペアで判断して習熟度に応じたレベルを選択して練習する。 【写真 2】 ○デジタル教科書の文法事項の確認動画を見ながらグループワークで英文を音読 (リピート) し、日本語訳を確認する。さらにクラス全体でも文法事項を確認する。 【写真 3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書の英文は読み上げ機能に連動してハイライト表示されるので、シャドウイングやリピートや同時読みなどのリーディング練習ができる。文章だけを表示したり、動画を表示したり、音読のペースを調整したり各自に適した形で学習することができる。 ○穴抜き会話文の教材を SKYMENU Cloud で配付し、iPad 上に表示させながら練習する。生徒は習熟度に応じた穴抜きレベルを選択し、効果的な練習方法により、ペアで交流しながら進めることができる。 ○グループワークにおいても iPad を活用してリーディング練習を行うことで、効果的に学習を進めることができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○リスニング練習 リスニング問題を流し、リーディングで取り組んできたことをリスニングにつなげる。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】デジタル教科書のハイライト機能を活用したリーディング練習の様子



【写真 2】習熟度に応じた穴抜き会話文を見ながらペアで会話練習をする様子



【写真 3】文法事項の確認動画を見ながら音読練習と日本語訳を確認する様子

児童生徒の反応や変容

- ・ デジタル教科書は、読み上げ音声の再生と同時に英文がハイライト表示されるので、シャドウイングやリピートや同時読みなど、自分に合った方法でリーディング練習ができ、短い時間でも効果的に練習することができた。
- ・ 長い主語が後ろに移動して「It is ～」の仮主語構文に変化する様子を、デジタル教科書の動画で分かりやすく確認することができた。その後、グループ内でそれぞれの文の日本語訳を確認しながら学習を進めることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ リーディング力の強化はリスニング力につながるため、個人練習、ペア練習、グループ練習と様々な練習形態でリーディング練習を繰り返した。それぞれの練習方法において、iPad を用いながら各自の習熟度に応じて練習方法を選択できるので、生徒たちは主体的に取り組めた。